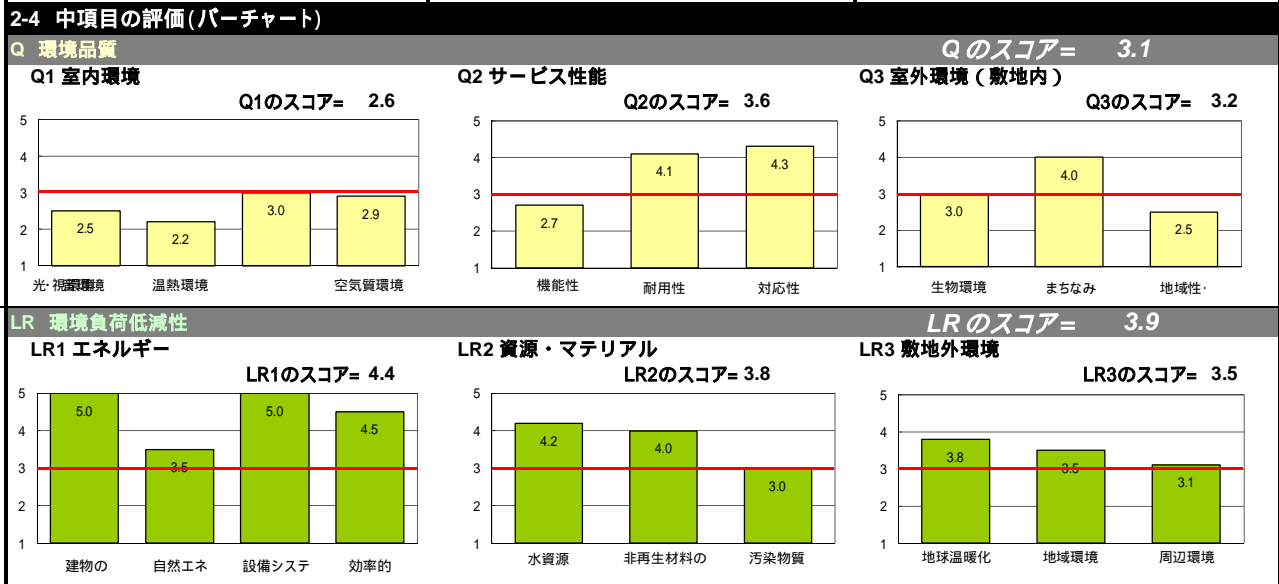
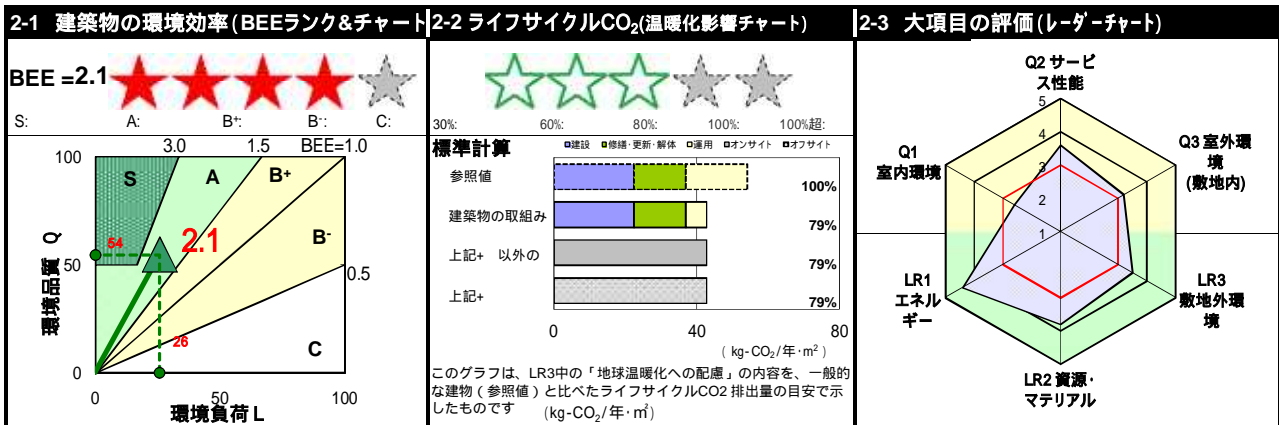


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)GLP厚木プロジェクト	階数	地上6F
建設地	愛甲郡愛川町中津字桜台4009番3	構造	RC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	600人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年12月 竣工	評価の実施日	2014年1月20日
敷地面積	44,511 m ²	作成者	(株)大本組
建築面積	18,501 m ²	確認日	2014年1月20日
延床面積	106,737 m ²	確認者	(株)大本組



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
免震構造を採用するとともに十分な階高を確保している。 外壁には断熱性能の高い鋼板パネルを採用し、熱負荷の低減を図っている。		
Q1 室内環境 室内換気を確保し、清潔な室内環境を整える。	Q2 サービス性能 免震構造の採用、十分な階高、空間のゆとりを確保している。	Q3 室外環境 (敷地内) 既存樹木の保存を行うと共に新たな植栽を行っている。
LR1 エネルギー 高効率機器、LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 資源消費の低減、環境負荷削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 十分な駐車場、駐輪場及びバイク置き場の確保し、周辺道路への交通負荷を最小限にとどめる計画をしている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される